

地方通信



新潟縣下道路愛護會

結成

新潟縣長岡土木出張所では生産力増強上道路の重要性に鑑み、各村部落壯年團國民學校等に檄を飛ばし道路愛護會を設立せしむべく伊勢谷所長着任以來積極的に勸奨中であるが、五月末の既設組合数は四十一組

合、一萬五千二百二十三名、延長數二十二萬九千四百米といふ縣下でも一、二位の好成績をみせてをり中でも模範的なものは

古志郡太田村、半藏金、栃尾、富曾龜、山本、上鹽谷、三島郡岩塚、不動澤、岩田、塚山、大嶺

等で古志郡下に於ては既に過半數の町村が設置を見たが、三島郡が不振のため同所では今後は専ら同地方に馬力をかける方針である。同愛護會は必ずしも町村單位とせず翼壯團、青少年學徒を以て組織する事も可能となつてゐる。

又「道路愛護は翼壯が引受け實踐しよう」と南蒲原郡井栗村翼壯が起ちあがり、各自が自己の道路といふ觀念の下に早期修理等を行ふことになり、六月十一日道路愛護會の發會式をあげ、具體的實施事項を決定した。

安治川河底隧道

大阪市が施工中の安治川河底隧道は最後の難關防水試験を完了、近く貫通工事を終へる。

防水工事は昨秋兩岸の潛函式工法による隧道兩端の間へわが國最初の大沈埋管を沈設以來、接合部に六ヶ月餘厚さ十六ミリの強靱なゴム帯で外部から包んだうへ、南岸はさらにこのうへを厚さ一米の頑丈な混凝土で掩蔽し、隧道内部への浸水を防止するため續けられてきた困難な水中作業で、このほど終了したので、防水効果をみるため南北兩接合部とも河岸側の仕切壁に試験孔を明け、綿密に調査したが、接合部内部へは全然漏水のないことが確められた。これで貫通したのも同様で、あとは北岸接合部の混凝土工事を施し、沈埋管兩端部の混凝土壁と河岸側の仕切壁を取除けば立派に隧道が貫通した。